

「誰一人取り残さない消防」を目指して手話講座を実施

郡山地方広域消防組合消防本部

郡山地方広域消防組合消防本部では、12月17日（金）、喜久田ふれあいセンターで、手話講座を開催しました。

今回は、郡山市の手話通訳士やNPO法人郡山市聴力障害者協会の方々を講師として招き、聴覚に障がいのある方と円滑なコミュニケーションが取れることで、より安心を与えられる消防行政サービスを目指して、郡山消防署喜久田基幹分署の職員25名が参加しました。

実際に手や口を動かしながら、手話のほか、口話、指文字、空書等さまざまなコミュニケーション手段を学びました。

今後も、すべての住民の立場に立った「誰一人取り残さない消防」を目指し、思いやりのある「心のユニバーサルデザイン」を実践してまいります。



新潟駅周辺飲食店の一斉防火指導を実施しました！

新潟市消防局

新潟市消防局では、令和3年12月1日に新潟駅周辺の繁華街にある飲食店に対し、一斉に防火指導を実施しました。

新型コロナウイルス感染者が減少し、忘年会時期を迎えて、飲食店を利用する機会が多くなることから、中央消防署の職員30名が、飲食店の防火管理体制や消防用設備等の維持管理状況を確認し、飲食店関係者に火災予防を呼びかけました。

これからも飲食店からの火災を減らすため、関係者に理解を求め、安心安全な街づくりのため、心のこもった指導に努めてまいります。



消防通信 望楼 ぼうろう

土砂災害対応訓練を実施

豊川市消防本部

豊川市消防署では、9月11日（土）15日（水）、10月26日（火）に敷地内砂場において、土砂災害対応訓練を実施しました。

令和3年7月に静岡県熱海市で発生した土砂災害では、本市からも緊急消防援助隊として隊員が現地へ派遣されました。

本市においても、災害発生時には掘削活動が必要になることから、土砂災害の対応能力の向上を図ることを目的とし、ゾンデ棒による検索、応急土留めの作成要領等を確認しながら訓練を実施しました。



「口頭指導研修会」を開催

堺市消防局

当局では、令和3年11月25日（木）通信指令員を対象とした「口頭指導研修会」を開催しました。

ブラインド形式の想定訓練で、内容については以下の通りです。

- 1 電話リレーサービスによる119通報に対する口頭指導
- 2 まちかどAED使用についての口頭指導
- 3 アレルギーを発症した子どもに対する口頭指導 他

研修会では、医師や手話通訳士から専門的な指導を受けて、口頭指導技術が向上しました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】